

# 別子山公民館 令和5年3月号

## 地域文化の伝承：「こんにゃく作り」 別子校区地域教育力向上プロジェクト推進事業

今回は、地域文化の伝承活動として別子山地域で古くから行われてきた「こんにゃく作り」を再現させていただきました。丁度、新型コロナウイルス感染症も感染者数が前週を上回ることもなく減少傾向が続き、落ち着きを見せ始めましたので食に関する事業活動も、丁寧な感染対策を行う事で実施に踏みきることが出来ました。この伝承活動は、これまで何世代も受け継がれてきた地域文化を守り継承するための事業で、ともすれば消えてしまう食文化に焦点を当て、一つ一つ再現し冊子にして伝え残す事で、次世代に継承する事を目的として始めました。もともと日本人は「お腹のお掃除役」としてこんにゃくをよく食べていました。あまり味の無いこんにゃくを食べていたのはなぜか？昔の日本人は、食事のあとの便通や身体の掃除を目的にこんにゃくを食べていたようで「こんにゃくは砂払い」と言われ、日本人がこんにゃくの力を普段の食事の中から体感として知っていたことの表れの様です。

栄養の「摂取」を目的とせず、「排出」を考えた、こんにゃくのご食物繊維を利用してお腹の掃除をするという食べ方は、世界でも珍しい習慣と言う事です。食べてみて本当に勉強になりました。今後もこの様に、次世代に受け継ぎ残す活動を展開して行きたいと思っております。ご協力頂きました皆さん本当にありがとうございました。



## ・・・第22回 地域おこし協力隊通信・・・

**松井です**・・・1月2月3月は、本当にあっという間に過ぎていきますね。私は早生まれなのですが、カウントダウンする間もなく、誕生日が過ぎていってしまいました…

さて、日々の活動状況ですが、今年は昨年より大幅に多くのお野菜等を作る予定をしております。昨年ビギナーズラック的に上手くいったミニトマトは勿論、試験的に栽培していたものの中でシッカリ育つもの、イマイチ育たないものの判断が出来ましたので、シッカリ育つものに関して作付けを増やす予定です。一昨年から始めたイベントも、お陰様で毎回完売に近い結果を出す事が出来るようになり、『今日はアせないの？コせないの？』と言って頂けるようになりました♪ 木工品や『なめし皮』もご注文頂けるようになってきましたので、今年は更に技術を磨き、種類を増やせるよう引き続き前向きにポジティブに進んでいきたいと思っております。 まだ少し先になる春を待ちわびつつ、部屋の害虫対策の準備を始めようと思っております（笑）

**赤嶺です**・・・こんにちわ！別子山に着任してから早くも二ヶ月が経ちました。大変なことも多々ありますが、未知の世界に足を踏み入れた楽しさを実感し、この地の特色を生かして出来る地域活動をしつつも、自身の取り組みたい活動を第一に、健康第一に頑張っています。畑の土づくりには準備と期間を要するため、現在は土に必要な有機物集めに勤しんでいるのですが、山は寒く市街地とは環境が異なるため、そのことを念頭に置き計画を練る必要があります。種まきや定植はおよそ4月頃から始まりますが、別子山は雪も雨もたくさん降ることから屋内作業を余儀なくされる日が続く、もどかしい気持ちになります。ですが、そんなうつつとした日々ばかりではありません。2月13日には地域の子供と一緒にバレンタインのお菓子作りを公民館で行いました。別子山は小学生が少なく、またコロナにより中止となった学校行事が多くあると聞いているので、こういった体験を子供たちと共有出来て本当に良かったと思っています。お菓子も、大人顔負けの出来栄でしたよ！協力隊として、自分の得意分野で地域貢献できる事はとても嬉しく思いますし、メインの活動にも自分の得意が活かせるようこれからも頑張っていきます。

**竹田です**・・・竹田稔和と申します。出身は岡山市。56歳です。以前、福祉施設の農業班で自然栽培に取り組んでいましたが、自分で本格的にやってみたくなり、ここ2年程、学び直しと試行錯誤を繰り返しておりました。私の個人的な感想ではありますが、自然農は以前に比べれば、実践家、支持者が増えてきているものの、まだ世間的には十分認知されていません。幸いなことに、この度、別子山地域おこし協力隊として、自然農をする機会をいただきました。それだけでも感謝感激ですが、引越しまもなく、ご近所の方に大きなアメゴの写真を見せていただき、年甲斐もなく興奮しました。私は溪流釣りが大好きで、若い頃は九州から北海道まで釣り歩いていました。都会で働くようになると、釣りに行けない分、山釣りの随筆を読むようになりました。それが自然農への憧れに繋がっていることは否めません。むしろ自然農といっても、全てを自然に任せて仙人のように暮らすということではありません。自然農をやるには、何よりその土地の自然環境を知ることが大切。借地、土作り、作付け選定、草刈、鳥獣害対策等々にしても、地域の皆様のご指導をお願いしなければならないことばかりです。そうしたご指導をいただくためにも、私自身に何が出来るのか、あらためて考えているところです。日暮れて道遠しの感はありますが、一生懸命やりますので、何卒宜しくお願い致します。



竹田 稔和さん

# 第56回にはま春の市民文化祭《美術の部》作品募集

みなさんの作品を展示しませんか。市内にお住まいの方、通勤通学している方なら誰でも出品できます。

詳しくは、公民館などで配布している募集要項をご覧ください。

1. 作品受付 4月3日(月) 9時45分～16時 作品と申込書をあかがねミュージアム2階にお持ちください。
2. 募集部門 書道・日本画・洋画・工芸(陶芸・美術工芸・彫塑立体)・写真・デザイン・版画・絵手紙  
・文芸(短歌・俳句・川柳)

3. 展 示  
日時：4月8日(土)～4月16日(日)  
9：30～17：00  
※13日(木)は19：30まで延長開催  
(ナイトミュージアム実施)  
※10日(月)は休館日  
場所：あかがねミュージアム2階



今回、初の試みとして、学校や仕事の都合により、美術館の開館時間内に来られない方々が、お気軽にご来館いただけますように、**4月13日(木)は、ナイトミュージアム(19：30まで開館延長)を実施いたします。**  
ぜひこの機会に、あかがねミュージアムへお立ち寄りください。

## 令和5年「春季全国火災予防運動」実施

令和5年3月1日(水)から3月7日(火)までの7日間、春季全国火災予防運動を実施します。

火災予防を常に意識し、火災による被害を防ぎましょう。

- 1 防火標語  
『お出かけは マスク戸締り 火の用心』
- 2 火災予防推進事項
  - ①住宅防火対策の推進
  - ②電気火災・燃焼機器火災予防対策の推進
  - ③乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
  - ④放火火災防止対策の推進
  - ⑤特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
  - ⑥製品火災の発生防止に向けた取組の推進
  - ⑦林野火災予防対策の推進



- 『住宅防火 いのちを守る 10のポイント』 4つの習慣
- 1 寝たばこは、絶対にしない、させない。
  - 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
  - 3 こんろを使うときは火のそばを離れない。
  - 4 コンセントはほこりを掃除し、不必要なプラグは抜く。  
(6つの対策)
  - 5 火災の発生を防ぐため、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
  - 6 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
  - 7 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
  - 8 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
  - 9 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
  - 10 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を

## 移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が、別子山地区にやってきます。みなさん是非ご利用ください。

3月は、16日(木)に巡回します。  
別子小中学校 13：00～14：00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。  
※1人10冊まで借りる事ができます。  
その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館  
Tel 0897-32-1911

## 地域文化の伝承「おとうふ作りに挑戦」

公民館では、地域文化の伝承を標題にして、別子山の貴重な産物を掘り起こし、後世に語り継げるよう活動を続けて参ります。先日は、食文化の伝承活動で、冬場の厳しい自然環境の中で出来る「こんにやく」づくりを行いました。

今回も、地元の方に講師をお願いし、豆腐作りを一から学ぶ事で、貴重な食文化を冊子化し、後世に伝え残す活動に取り組んでまいりたいと思います。

日時：3月2日(木) 午前9時～  
場所：別子山瓜生野 近藤 利枝 様方



なかよしのねごと 😊 2月は、三寒四温の言葉どおり寒かったり、温かかったりと体調管理に苦労いたします。別子山は寒い日が勝っていますが!!

さて、今年の春分の日は、3月21日で二十四節気の春分に入る日をさして、太陽が真東から登って真西に沈むので、昼と夜の長さがほとんど同じになります。実際は昼の方が14分程長いそうです。丁度、春分の日は彼岸の中日と言う事で、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」趣旨の、国民の祝日です。春の種まきや秋の収穫とも結びつき、自然に対する感謝や祈りがご先祖様に感謝する気持ちにもつながって、お彼岸は大切な行事となった様です。

私も母を亡くして1年、ご先祖様に感謝を忘れず、これからも見守っていただける様に、お参りたいと思います。

さらに3月は、別れと出会いの時期でもあります。別れは様々な場所で出会いお世話になった方々への感謝とお礼を忘れず、新たな出会いに対しても、明るい未来作りに繋がるよう協力連携を徹底したいと思います。

日毎に暖かくなって草木も芽吹き始めますが、まだまだ一時的な冷え込みも考えられます。

皆さんも、体調管理には万全を期してお過ごし下さい。

## 地区防災計画を作成しました

別子校区の自主防災組織が、中心となり、地域の特性に応じ自発的な防災活動について取りまとめた「別子校区地区防災計画」を作成しました。公民館の窓口にありますので、お気軽にお目通し下さい。



3月1日公開開始